

(2) 体育科の目標

小学校学習指導要領（平成29年告示）において、体育科の目標は以下のよう
示されています。

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

ここでいう、体育科で求められる資質・能力とは、以下のとおりとなります。



「知識及び技能」

(1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

「思考力、判断力、表現力等」

(2) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

「学びに向かう力、人間性等」

(3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

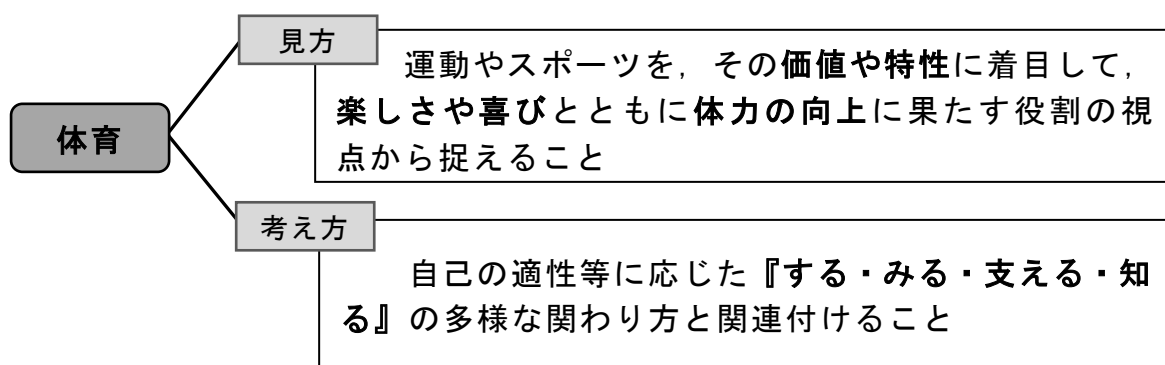
特に「学びに向かう力、人間性等」については、目標において全体としてまとめて示し、指導事項のまとまりごとに内容を示さないことを基本としています。運動領域においては、豊かなスポーツライフを実現することを重視し、従前より「態度」を指導内容として示していることから、「学びに向かう力、人間性等」に対応した内容が示されています。

つまり、他教科と違って、体育科の運動領域だけは、体づくり運動系～表現運動系までの各領域に「学びに向かう力、人間性等」の指導内容が示されているんですね。



(3) 体育科における見方・考え方について

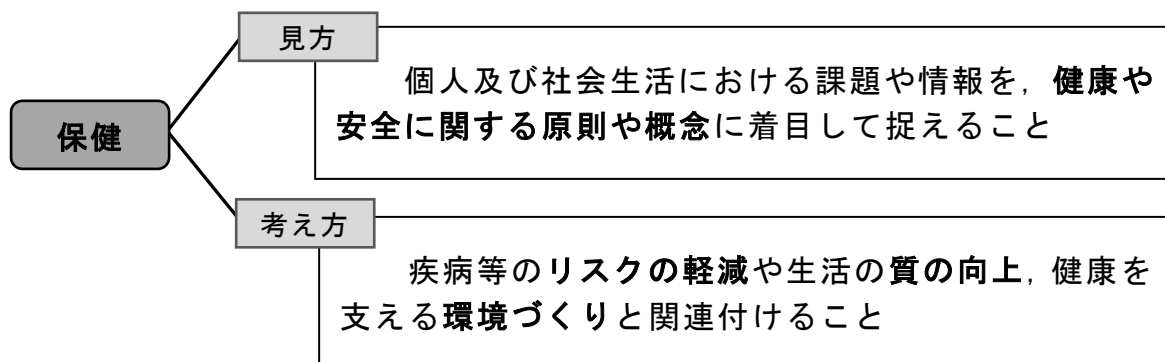
体育科の目標にある「体育や保健の見方・考え方」については、以下のように示されています。



特に，小学校においては…



「運動やスポーツは特性に応じた楽しさや喜びがあることと体力の向上につながっていることに着目するとともに、『**すること**』だけでなく『**みること**』『**支えること**』『**知ること**』など，自己の適性等に応じて，**運動やスポーツとの多様な関わり方**について考えることを意図している。」と示されています。



特に，小学校においては…



「身近な生活における課題や情報を，保健領域で学習する病気の予防やけがの手当の原則及び，健康で安全な生活についての概念等に着目して捉え，病気にかかったり，けがをしたりする**リスクの軽減**や**心身の健康の保持増進**と関連付けることを意図している。」と示されています。

(4) 各学年の目標について

① 第1学年及び第2学年の目標

「知識及び技能」

(1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。

○「楽しさに触れる」について



児童の発達段階に適した易しい運動遊びを通して運動の楽しさや喜びに触れさせます。



運動遊びに意欲的に取り組み、知識及び技能を身に付け、その結果として体力の向上を図ることにつながります。



○「行い方を知る」について



運動遊びの課題、行い方のきまり、用具の使い方、場の安全確保等、各種の運動遊びの行い方について理解させます。



各種の運動の基本的な動きの習得や課題の解決、友達との関わり合いなどを行いやすくします。



○「基本的な動きを身に付ける」について



各種の運動遊びの楽しさに触れ、活発に運動を行っていく中で、基本的な動きを幅広く身に付けさせます。



各種の運動遊びにおいて取得が期待される、運動種目として成立する以前の基本的な動きを身に付け、結果として体力の向上を図ることにつながります。



「思考力、判断力、表現力等」

(2) 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。

○「行い方を工夫する」について



運動遊びをする場や練習の仕方などを自らの力に応じて工夫したり、教師から提案された楽しみ方や、自己や友達が考えた楽しみ方から、自己にあった楽しみ方を選択したりできるようにします。



できそうな運動遊びや、友達と一緒にいると楽しい運動遊びを選んだり、運動遊びをする場や使用する用具を変えながら、楽しくできる遊び方を選んだりして、各種の運動遊びの楽しさに触れることができるようになります。



○「他者に伝える」について



友達や教師，保護者等に，直接，言葉で説明することばかりでなく，身振りなどの動作を伴い表現すること，学習で経験したことを感想文や絵で表現すること，保護者に伝えること等ができるようにします。



友達のよい動きを見付けたり，工夫したり考えたりしたことを友達に伝える力が身に付きます。



「学びに向かう力，人間性等」

(3) 各種の運動遊びに進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，健康・安全に留意したりし，意欲的に運動をする態度を養う。

○「進んで取り組み」について



各種の運動遊びの楽しさや喜びに触れ，自ら進んで運動に取り組むよう支援します。



生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を身に付けることができます。



○「意欲的に運動をする態度」について



運動をする子供とそうでない子供の二極化傾向が見られることを受け，運動遊びをする環境条件の整備を含め，低学年から誰もが意欲的に運動に取り組む態度を培うための指導が必要です。



生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を養います。

また，運動遊びの実践だけでなく，日常の生活において必要な態度にもつなげることができます。



② 第3学年及び第4学年の目標

「知識及び技能」

(1) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

○「運動の喜びや楽しさに触れ」について



児童の発達段階に適した易しい運動を通して運動の楽しさや喜びに触れさせます。

また、運動の楽しさだけでなく、友達と協力して得られる達成感や課題を解決した成就感などの喜びに触れることができるようにします。



運動に意欲的に取り組み、知識及び技能を身に付け、その結果として体力の向上を図ることにつながります。



○「行い方を理解する」について



運動の課題、行い方のきまり、場や用具の使い方、場の安全確保等、各種の運動の行い方について理解させます。



各種の運動の基本的な動きや技能の習得や友達との関わり合いなどを行いやすくします。



○「健康で安全な生活や体の発育・発達について理解する」について



健康の保持増進には、健康の大切さを認識すること、毎日の生活の仕方が関わっていること、体を清潔に保つこと、生活環境を健康的に整えることとともに、年齢に伴う体の変化について理解させます。



健康の保持増進のために行うことや身近な事柄としての思春期における体の発育・発達等の体の変化等があることが分かります。



○「基本的な動きや技能を身に付ける」について



各種の運動の楽しさや喜びに触れ、活発に運動を行っていく中で、各種の運動の基本となる動きや技能を身に付けさせます。



各種の運動の基本となる様々な動きや技能を身に付け、結果として体力の向上を図ることにつながります。



「思考力、判断力、表現力等」

(2) 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。

○「自己の運動の課題を見付け」について



児童が自己の能力に適した運動の課題を見付けることができるように支援します。



自己が取り組む運動に関わる解決すべき課題を見付け、学習の見通しをもつことができます。



○「自己の身近な生活における健康の課題を見付け」について



児童が保健領域のそれぞれの内容に係る情報を収集したり、自己の経験を振り返ったりすることによって、解決すべき課題を見付けることができるように支援します。



健康な生活及び体の発育・発達に関わる事象や情報から、自己の健康に関する課題を見付け、学習の見通しをもつことができます。



○「解決のための方法や活動を工夫する」について



運動をする場や練習の仕方などを発達の段階に即して、自ら適切に工夫したり、自己にあった楽しみ方を選択したり、自ら楽しみ方を工夫したりすることができるようにします。

また、正しい健康情報を集めたり選んだりして、課題のより良い解決方法予想したり考えたりすることや、学んだことを自己の生活と関連付けたりすることができるようにします。



各種の運動において見付けた自己の運動や身近な生活における健康の課題の解決に向けた方法や活動を工夫する力を身に付けることができます。



○「他者に伝える」について



友達や教師、保護者等に、直接、言葉で説明することばかりでなく、身振りなどの動作を伴い表現すること、学習で経験したことを感想文や絵で表現すること、保護者や地域の人に伝えること等ができるようにします。



自己の考えを他者に伝えることで、自己の考えを深めることができるようになります。



「学びに向かう力，人間性等」

(3) 各種の運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に留意したりし，最後まで努力して運動をする態度を養う。また，健康の大切さに気付き，自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。

○「進んで取り組み」について



各種の運動の楽しさや喜びに触れ，自ら進んで運動に取り組むよう支援します。



生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を身に付けることができます。



○「友達の考えを認め」について



互いの動きを見合ったり補助をし合ったりするときに見付けた動きのよさや課題などを伝え合う際に，友達の考えを認めたり，互いの気持ちを尊重し合ったりできるように支援します。



友達の考えを聞くことで，自己の考えを深めたり，友達との良好な関係を築いたりすることができます。



○「最後まで努力して運動をする態度」について



課題に最後まで諦めずに取り組む過程で達成感を得たり，課題の解決に取り組む意味や自己の可能性に気付いたりすることができるようにします。



学習課題の達成に向けて最後まで成し遂げる態度や，生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を身に付けることができます。



○「健康の大切さに気付き，自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度」について



自己の健康に関心を持ち，健康の保持増進のために進んで学習活動に取り組む，課題の解決に向けて協力し合う，心身の発育・発達等を肯定的に捉える等の態度をもつことができるようにします。



保健領域の内容に触れ健康の大切さに気付くとともに，健康の保持増進に主体的に取り組む，健康で豊かな生活を営む態度を身に付けることができます。



③ 第5学年及び第6学年の目標

「知識及び技能」

(1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。

○「楽しさや喜びを味わい」について



児童の発達の段階に適した、易しい運動を通して運動の楽しさや喜びを味わわせるとともに、健康な生活や発育・発達について理解することを通して、生涯にわたって運動やスポーツに親しみ、実践していくための資質・能力を育てます。



個人の達成感や仲間と協力して得られる達成感等の喜びを味わうことにより、知識及び技能が更に身に付き、一層楽しさや喜びが高まっていきます。



○「行い方を理解する」について



運動の課題や約束、場や用具の使い方、場の安全の確保等、各種の運動の行い方について理解させます。



各種の運動の基本的な技能の習得や仲間との関わり合いなどを行いやすくします。



○「心の健康やけがの防止、病気の予防について理解する」について



心の発達や心と体との密接な関係及び不安や悩みへの対処の仕方、交通事故や身の回りの生活の危険を予測し、回避すること、病気の起こり方と予防について理解させます。



自己の感情をコントロールしたり、相手の気持ちを理解したり、心と体は深く影響し合っていることを理解したり、心の不安や悩みに気づき対処するための様々な経験をすることが心の発達のために大切なことに気付いたりすることができます。



○「運動の特性に応じた基本的な技能を身に付ける」について



各種の運動の楽しさや喜びを味わわせながら、各種の運動の基本となる技能を、それぞれの運動の特性に応じて身に付けさせます。



各種の運動の特性に応じた技能を身に付け、結果として体力の向上を図ることにつながります。



○「健康で安全な生活を営むための技能を身に付ける」について



心の健康における不安や悩みへの対処の方法やけがの防止におけるけがなどの簡単な手当てに関わる技能を身に付けさせます。



体力の重要性について理解し、結果として体力の向上を図ることにつながります。



「思考力、判断力、表現力等」

(2) 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

○「自己やグループの運動の課題を見付け」について



児童が自己やグループが取り組む運動に関わり解決すべき適切な課題を見付けることができるように支援します。



運動についての課題、課題に対応した練習の場、技や技術を確認し、個人が対応すべき課題とグループで対応すべき課題とを整理して確認することで、学習の見通しをもつことができます。



○「身近な健康に関わる課題を見付け」について



児童が保健領域のそれぞれの内容に係る情報を収集したり、自己の経験を振り返ったりすることによって、解決すべき課題を見付けることができるように支援します。



心の発達や心と体との密接な関係、不安や悩みへの対処の仕方、交通事故や身の回りの生活の危険予測と回避、病気の起こり方と予防について自己の課題を見付け、学習の見通しをもつことができます。



○「解決のための方法や活動を工夫する」について



運動をする場や練習の仕方などを発達の段階に即して、自ら適切に工夫したり、選択したり、楽しみ方を工夫したり、教師や仲間から提案された楽しみ方から、自己やグループに合った楽しみ方を選択したりすること、保健で習得した知識及び技能を活用して課題の解決方法を予想し考えたり、それらの中から適切な方法を選択したりすることができるようにします。



自己やグループの運動や心の健康、けがの防止及び病気の予防に関する課題の解決に向けた方法や活動を工夫する力を身に付けることができます。



○「他者に伝える」について



友達や教師、保護者等に、言葉で説明することばかりでなく、身振りなどの動作を伴い表現すること、学習で経験したことを感想文や絵で表現すること、保護者や地域の人に伝えること等ができるようにします。



自己の考えのみならず、仲間が考えたことを他者に伝えることで、他者の考えを理解するとともに自己の考えを深めることができるようになります。



「学びに向かう力，人間性等」

(3) 各種の運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に留意したりし，自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また，健康・安全の大切さに気付き，自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。

○「積極的に取り組む」について



各種の運動の楽しさや喜びを味わい，自ら積極的に運動に取り組むよう支援します。



生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を身に付けることができます。



○「自己の最善を尽くして運動をする態度」について



最善を尽くして運動をする過程で達成感を得たり，課題の解決に取り組む意味や，自己や仲間の可能性に気付いたり，新たな課題に挑戦する態度が培われたりすることができるようにします。



運動領域の学習で，学習課題の達成に向けて全力を出して運動に取り組む態度や，生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を身に付けることができます。



○「健康・安全の大切さに気付き，自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度」について



自己の健康に関心をもち，心身の健康の保持増進や疾病の予防・回復のために主体的に学習活動に取り組む，課題の解決に向けて協力し合う，安全を確保してけがを防止するなどの態度をもつことができるようにします。



保健領域の内容を学習する中で，健康・安全の大切さを認識し，自己の心身の健康の保持増進や疾病やけがなどからの回復，危険の回避等に主体的に取り組む，楽しく明るい生活を営む態度を身に付けることができます。

